

福祉 ユーカリが丘

ユーカリが丘地区社会福祉協議会
 発行人 会長 平野協治
 編集 広報 事業部
 〒285-0843 千葉県佐倉市中志津2-32-4
 西部地域福祉センター内
 電話：043-460-1781 FAX：043-463-4169
 事務局員勤務：火・水・金の13時～17時
<http://yukari-shakyo.jp/>

本番に向けて (3月25日(日) 4面参照)

笑って楽しめるお話フェスティバル お話フェスティバル出演に向けて練習を頑張っています

お話フェスティバルは平成13年12月21日にスタートしました。

私は、前年度に青菅小学校PTA会長を無事に卒業し、目がさらに地域に大きく向いた時期でした。『世代を超えた交流が出来る機会が作れないだろうか。大人も子供も、皆が笑って楽しめる企画が作れないだろうか。』と、当時の児童福祉事業部のメンバーで熟慮の



末、未来を担う子供たちに喜んでもらえる話を心をこめて届けよう、夢を抱き愛を持ち力強く育っていくことを願って地域の方によるお話の会を企画しました。

でも、初めての試みです。『子供たちは来てくれるだろうか？喜んでくれるだろうか？』と、不安でいっぱいでしたが、志津コミュニティセンターの大会議室がギューギュー詰めになるくらい子供たちが来てくれました。

お話が進むにつれ、子供たちの真剣な眼差し、こぼれる笑顔、溢れる笑い声に不安も吹き飛ばしてくれました。会場全体が一体となり、幸せな空間を皆で共有出来ました。

第2回からは、会場を大会議室から大ホールに替え、開催時期

もPTAが参加し易い3月にし『春休みだよ!!お話フェスティバル』と命名。毎回、地域の各学校の図書ボランティアの方・劇団井野つ子・佐倉おはなしの会等、多彩な出演者が見事な大型紙芝居や人形劇・影絵・語り等を披露してくださいました。平成18年には、佐倉西高等学校の生徒が大型紙絵本で出演。平成20年からは青菅小や小竹小・志津小の児童が、落語や語りで出演。

今年は、志津小学校の大谷秀敏校長先生の発案により、授業の一貫として4年生全員の語りで出演することになり、佐倉おはなしの会の語り手の指導のもと、練習に取り組んでいます。(写真は練習の様子)

子供たちが人前で、堂々と自分を表現するお手伝いが出来たら嬉しい限りです。

交流事業部 田倉玲子



2面：防犯・防災フォーラム／4地区社協合同研修／第2ブロックふれあい交流会／第30回ボランティアのつどいに参加
 3面：まちの話題（地域で頑張っているパトロール隊を紹介します／地域の様々な情報）

ユーカリが丘地区社会福祉協議会の概要と活動

防犯・防災フォーラム“2012”を開催

従来は自治会協議会、地区社協、商店連合会、山万(株)等個別若しくは連携して開催してきました。今回は、まちづくり協議会が発足したこともあり、ユーカーが丘地域まちづくり協議会・ユーカーが丘自治会



協議会・ユーカーが丘地区社協の3団体の主催となりました。
ユーカーが丘地区商店連合会・NPOクライネスサービス・山万グループの協賛、各小中学校PTA等、多くの協力をいただき、230名以上の来場がありました。

当日の講演は、

講演Ⅰ 警察から見た高齢者問題と災害対策

講師 佐倉警察署署長 木川 正博氏

講演Ⅱ 東日本大震災におけるユーカーが丘の被害

状況と対策

講師 山万災害対策本部長 島村 義明氏

講演Ⅰでは、佐倉・ユーカーが丘と身近な犯罪実態を中心に講演、特に高齢者に関わる振り込め詐欺・ひったくり・万引き・自転車事故など内容の深い講演でした。

高齢者の安全安心を確保する方策を地域社会に

2月5日(日) 志津コミュニティセンター大ホール
しつかり定着しなければと認識させてくれたと思います。

講演Ⅱでは、千葉県の地図により地震予想・震源域・震度分布・被害予想等、リアル且つ迫力のある内容でした。災害の対策として安全な住宅環境・飲料水、非常食の準備、防災用品の用意、共助の体制・家族の役割・連絡方法、防災訓練・イベントへの参加等再認識させてくれたと思います。

志津4地区社協合同研修

佐倉市の現状について学ぶ

2月19日(日) 志津荘

福祉委員の福祉知識の高揚をはかる為に4地区社協共催事業として毎年開催している研修会で、今年度は、佐倉市長蔵和雄氏を講師にお迎えし平成24年度佐倉市の福祉政策等についてを演題に講演をしていただきました。

内容としては、高齢者福祉・障がい福祉施策の

現状と課題・生活保護費の給付増加・子育て支援施設の取り組み・放射線低減対策など多岐にわたり多くのケースを掲げて講演していただきました。身近な内容であり、約120名以上の参加者が最後まで熱心に聴き入っていました。



第2ブロックふれあい交流会

3月4日(日) 志津コミュニティセンター大会議室

明日は啓蟄と言うのにとっても寒い日でしたが、37名の高齢の方が出席してくださいました。

今回は『上座旅一座』の3名に来ていただき、艶やかな舞踊と凛々しくてさうそうとした舞踊を披露。大きな拍手を頂戴しました。合唱は、『春』や『青い山脈』の他、手話ダンスを教えていただきながら『ふるさと』を唄いました。

途中、お茶とお菓子で歓談タイムをはさんでの2時間は盛況の内に終了しました。



「第30回ボランティアのつどい」に参加

(佐倉市ボランティア連絡協議会主催)
2月11日(土・祝) 志津コミュニティセンター

昨年に続き、今年もアイマスク体験のコーナーを担当しボランティア事業部から9名が参加。その他、駐車場係りに2名。ブースでは志津地区社協の方と一緒に手作り品の販売をしました。

ボランティア団体の他に、高齢者施設や障がい者施設もブースに出店し、施設で作っているクッキーや陶芸品なども販売していました。恒例になった抽選会では、掘ったばかりの自然薯も景品にだされ大いに盛り上がりがありました。



まちの話題

地域で頑張っている

パトロール隊を紹介しします

「千葉県交通安全推進隊」

おだけを守る会(交通ボランティア)

ユーカリが丘地区社協のエリアには、27の自治会・町会があり、地域の防犯や登下校の見守り等の活動に関わっている方が大勢います。活動の様子を少しですが紹介できたらと思います。

第3弾として「千葉県交通安全推進隊」をご紹介します。

「千葉県交通安全推進隊」は、平成14年度から児童の登下校時、交通安全見守りを目的に発足し、県下で現在約4000名が活動しています。

主旨に賛同したユーカリが丘2丁目在住の有志6名が、「小竹小学校」児童の交通安全を願い、平成18年度から参加して今年で7年目に入ります。

晴雨に関係なく、学校の授業にに応じて年間200日余、朝練(部活動)のある日は、6時30分から5か所の交差点に分かれ、毎朝児童の安全を見守っています。

今春の卒業生は、1年入学から6年間接してきましたので、大きく、逞しく・立派に成長して、中学生に巣立ってゆくのは、感慨深いものがあり嬉しいものです。

この冬の佐倉市の最低気温は、氷点下6度6分と例年以上に寒く、活動も大変ですが、カイロ持参で何とか頑張つてパトロールをしています。



児童から朝の挨拶で若さと元気を貰ったり、今朝は、〇〇さんの顔が見えないけど、大丈夫かな?と心配したりで、寒さも吹っ飛んでゆくそうです。

3月21日に新しい道路開通に伴い、交差点が1か所増えて推進隊が足らなくなりました。

週に1日、参加でも結構です。

ご自身の健康維持にも、是非ご検討頂けないでしょうか。

学校行事(全校集会・運動会・餅つき等)にも積極的に参加して、児童と交流を深め今後自分自身の体調と相談しながら、続けて頑張るそうです。



まちの見ミニ情報

人と人、場と場をつなげる虹の架け橋

ユーカリが丘エリアには様々な福祉施設がありますが、その1つに地域生活支援センター「レインボー」があります。実際どのような事を行っているのか、須藤哲センター長に話を聞きました。

レインボーは、地域で生活している障がい(身体・知的・精神)をもった方やその家族の相談を聞く窓口で、相談の内容に応じて病院や他の事業所・施設などの機関につなげ、相談者が安心して暮らしていけるように動いています。行政(制度の利用申請など)や病院に1人で行けない方には、付き添いの症状を説明することもあります。平成21年から精神疾患の方の相談も本格的に導入し、23年度は市内5箇所で開催してきました。精神疾患は見た目ではわからないぶん周囲から偏見や差別を受ける場合が多々あります。家族だけで解決するのは難しいです。相談することで気持ちが軽くなるかもしれません。気軽に電話ください。

電話番号 043(463) 1128 (FAXも同じ)



取材後に「職場での人間関係でウツになった」と言う青年と話す機会がありました。イケメンで精神疾患を持っているとは思えない青年。その方は「佐倉市には相談する場が数箇所あり助かっているが、相談員の方は多忙でじっくり話しが出来ない。自分の話を、じっくり聞いてほしい」と話していました。



ボランティアさんとの懇親会
 3月3日(土) 志津コミュニティセンター
 ユーカリが丘地区社協の事業の柱とも言える「1000円喫茶」「いきいきサロン」「歌声喫茶カフェ・ユーカリ」「スマイルサービス」は、ボランティアさんの支え無くしては成り立ちません。福祉委員会や事業部会などでお顔を合わせる機会も少ないボランティアの方々と親交を深め、日頃の感謝の気持ちをお伝えする場として、今年度も3月の福祉委員会後に懇親会を開きました。回を重ねるごとにボランティアさんの出席も増え、少しずつ懇親の和が広がってきたように感じます。ささやかな軽食と飲み物をいただくながら、ゲームや歌、ストレッチ体操等、手作りのとても温かなひと時を過ごしました。

今後のご案内

*クリーン大作戦

日時：3月18日(日) 10時～

集合場所：4か所

(南公園・青菅小・志津小・井野中)

内容：道路のゴミ拾いなど



前回の様子

*お話フェスティバル

日時：3月25日(日) 10時～12時

会場：志津コミュニティセンター

内容：志津小4年生による語り他



*三世代交流会

日時：5月26日(土)

会場：井野中学校体育館



ご寄付をありがとうございます

三井食品様より ホールケーキ

イオン様より 黄色いレシートキャンペーン13,900円

今年は寒い日が続きインフルエンザも流行しています。寒い日は生姜湯が1番！体がポカポカになります。

地区社協は色々な方面で活動しています。身近な話題など、わかりやすくたくさんの方に読んでいただけるよう広報事業部全員でがんばっていますので、これからもよろしくお願い致します。

編集後記



M.H

《いきいきサロン活動予定》

開催場所	開催日時	3月	4月	5月	6月
志津コミュニティセンター	第1金 10:00～15:00	2	6	4	1
宮ノ台自治会館	第3金 10:00～15:00	16	20	18	15

- 対象者概ね75歳以上で自分で身の回りの事ができる方はどなたでも参加できますのでいらしてください
- 開催時間:午前10時から午後3時まで開催
(午前の部だけ、午後の部だけの参加も可)
- 参加費:100円…お茶・お菓菓子代
(ただし、お昼のお弁当は別途600円注文は10時に取ります)
- 問い合わせ:ユーカリが丘地区社会福祉協議会 事務局 460-1781



《歌声喫茶「カフェ・ユーカリ」の開催予定》

開催場所	開催日時	3月	4月	5月	6月
志津コミュニティセンター	第3土 14:00～16:00	17	21	19	16

問い合わせ先 事務局043-460-1781

《100円喫茶 3月からの開催予定》

開催場所	開催日時	3月	4月	5月	6月
かがやき喫茶 ユーカリが丘第1集会所	第4火 13:30～15:30	27	24	22	26
ほほえみ喫茶 宮ノ台自治会館	第4火 13:30～15:30	27	24	22	26
わいわい喫茶 ユーカリが丘殖産自治会館	第4土 13:30～15:30	24	28	26	23
ふれあいサロン ユーカリが丘五番町ハイツ集会所	第3金 10:00～12:00	16	20	18	15
さわやかプラザ ユーカリが丘第2集会所	第2金 13:30～15:30	9	13	11	8
憩いの場ふれあい喫茶 上座集会所	第2水 13:30～15:30	14	11	9	13
みんなの広場 志津コミュニティセンター	第3水 13:30～15:30	21	18	16	20
先崎ふれあいサロン 先崎自治会館	第4日 13:30～15:30	25	22	27	17 (第3日)

問い合わせ先 事務局043-460-1781

わいわい喫茶 ユーカリが丘殖産自治会館の立替工事が終了しましたので、4月からユーカリが丘殖産自治会館になります。

ユーカリが丘地区社会福祉協議会の概要と活動

ユーカリが丘地区の街並み

- ◇ユーカリが丘は昭和 46 年に開発着手。50 年代半ばから入居 30 数年を経過（31 階建て高層マンション 4 棟を核に広がる）
- ◇開発面積 現在進行中の区画整理事業とあわせると約 245ha
開発計画戸数 8,400 戸 総計画人口 30,000 人。
- ◇民間として戦後始めて鉄道事業認可＝総延長 5.2km のモノレールが昭和 58 年 9 月に全線開通し、にユーカリが丘駅を起点に 6 駅が設置され運行している。



住宅地内を走行するモノレール

◇居住世帯数・人口（平成 23 年現在）

- 開発地区が約 6,500 世帯 人口 17,500 人
- 旧村地区が約 1,700 世帯 人口 4,500 人
- 合計 約 8,200 世帯 人口 22,000 人

◇福祉の街

- 老人保健施設 ○グループホーム ○特別養護老人施設
- 障がい者施設 ○学童保育 ○医療施設 など。

◇主要イベント

- ユーカリフェスタ ○みどりのまつり（商連）
- ユーカリまつり（自治会）○ふれあい福祉まつり（社協）

◇駅前施設

- ウイシュトンホテル（207 室のシティホテル） ○イオン（大型店補）
- 銀行 ○商店会 ○飲食店 ○映画館など

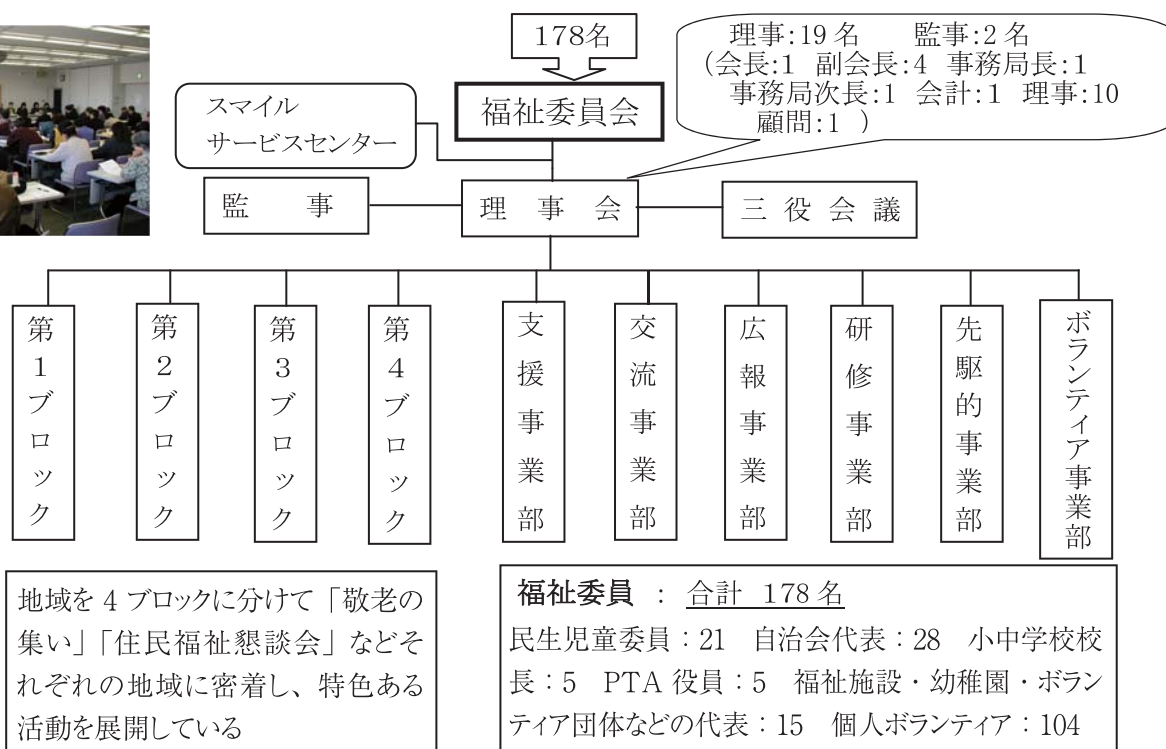


ユーカリが丘駅中心地図

ユーカリが丘地区社会福祉協議会

- 平成 9 年志津支会より独立。平成 14 年地区社協に。予算約 600 万円（敬老事業委託費含む）。
- 27自治会により構成されているユーカリが丘地区自治会協議会と同じエリア。
- 開発地区と旧村との共存－新旧住民は地区社協活動を通じ連携して活動している。

◆ユーカリが丘地区社会福祉協議会の組織



◆諸会議

◇福祉委員会

◇理事会

◇三役会議

◇ブロック会議

◇ブロック長会議

◇事業部会

◇専門委員会

◆地区社協全体の行事

○ふれあい福祉まつり（ユーカリが丘地区社協と志津地区社協の共催事業）



献品などによる福祉バザーと模擬店（お餅、焼き鳥、焼きそば豚汁、飲み物など）による飲食物販売を行っている。

利益は福祉基金に積み立て将来の事業展開に備えている。

←バザーの様子（日常雑貨品や新鮮野菜は大人気）

○ユーカリまつりに出店 夏祭りで盆踊り・和太鼓・カラオケ等が行われ約 35,000 人を動員。

おもちゃやくじ引きなどを販売し、地区社協の広報と収益を得ている。



ユーカリまつりに出店

◆各ブロック別の活動（4ブロックの地域特性を生かして開催）

○敬老の集い（佐倉市からの委託事業として各ブロックで開催）



敬老の集いに小学生も参加

○住民福祉懇談会

福祉委員、学校関係、企業、団体等が出席し地域の福祉課題について協議

○ふれあい給食会

生徒と高齢者の給食を通しての交流

○友愛訪問 独居老人などの安否確認

○ふれあい昼食会

地域の高齢者を招待しての昼食会



給食会の様子

◆各事業部の活動

◆交流事業部

○三世代交流会

中学校体育館において、高齢者、生徒、校長先生、PTA 役員、福祉委員など三世代の交流を目的に開催している。生徒による企画も取り入れ、演奏、演芸、ゲーム、コーラスなど。



余興を楽しみながらテーブルを囲んで懇談

○お話フェスティバル

春休みに、子供達やPTA 役員・住民による、紙芝居や語りべ・人形劇・影絵・朗読などを開催し、地域のコミュニケーションと、児童の健全育成を図る。



◆支援事業部

○100円喫茶 (8カ所／各月1回)

ワンコインでお茶とクッキーを食べながら
楽しく懇談。(年齢不問)



年齢性別を問わずフリーコミュニケーション

○歌声喫茶「カフェ・ユーカリ」 (月／1回)

昭和 30 年代に流行った歌声喫茶を思い出し、主として中高年のたまり場としてアコーデオンやギターの演奏に合わせ、フォークソングなどを唄い交流を図る。
挽いたコーヒーに手作りクッキーで参加費 200 円。

○いさいきサロン (2カ所／各月1回)

概ね 75 才以上の高齢者を対象に昼食を食べお茶を飲み、合唱や、手芸、ゲームなどを楽しみながら一日を過ごす。



七夕さまを飾り願い事を短冊に



歌声喫茶「カフェ・ユーカリ」の様子

◆研修事業部

○福祉委員研修 (福祉委員会終了後に開催)



「ともに歩むふくしプランⅡにおける福祉委員の役割」をテーマに開催

※過去の研修テーマ例

- ・ 地域福祉に果す社協の役割
- ・ 町の中で一緒に生きたい―障がい者福祉と地区社協―

○市民セミナー 「災害から学ぶ」をテーマに開催。

○防犯・防災フォーラム“2012”

◆ボランティア事業部

○クリーン作戦

地域の企業やボランティア団体の協力を得て、子供たちと一緒に
ゴミ拾いを実施。市の清掃局の分別研修なども開催。

○赤い羽根、歳末助け合い共同募金

10 月 1 日赤い羽根共同募金 12 月 1 日に歳末助け合い募金を
ユーカリが丘駅や周辺で実施している。

県立佐倉西高生徒や学童保育の子供達もボランティアで参加。



歩道や公園内をゴミ拾い



みんなで協力して募金活動

◆広報事業部

○広報紙発行 (年／4回発行)

見ていただけるようカラー印刷とし8500部印刷 全戸配布

○ホームページ ホームページの更新

◆先駆的事業部

- 移動サービス 市社協移動サービスの普及促進、敬老の集いなどのイベント送迎を検討中。
- 見守り制度 孤独死、災害時における高齢者など要支援者のためのネットワーク検討中。

◆志津4地区（ユーカリが丘・志津・志津南・西志津）社協合同で事業展開

○少年少女サッカー大会



○少年少女野球大会



○合同研修

「平成 24 年度佐倉市の福祉政策等について」をテーマに開催。

費用は4地区社協で平等に負担

○福祉施設訪問

地域の高齢者施設や障がい者施設を訪問し意見交換を実施。

◆地域の施設支援

○北志津児童センター



ワンパクまつりでゲームや販売コーナーなどを担当。

○千手会（障がい者施設）



ユーカリまつり来場時のサポートや、フェスタの手伝い。

■ともに歩むふくしプラン（第3次福祉活動計画）の実践

- ・平成 23 年に佐倉市社協が策定した福祉活動計画を地区社協活動の中でその実現に向け取組中。計画は住民自らが支え合う中で、地域福祉の向上に取り組むことを求めている。
- ・先駆的事業部にて推進状況の把握と事業化の検討。

■地域福祉教育推進指定期間終了後も連絡会議を継続

中学校：1 小学校：2 高等学校：1 地域団体代表として地区社協が指定されて 3 年間、自治会、商店会、ボランティア団体などが参加する福祉教育推進連絡会議を設置。
指定終了後、平成 22 年度からは志津小学校を含め 5 校で継続されている。

◆「スマイルサービスセンター」開所

高齢化に対応し要支援者へのサポートが大きな課題となってきたが、行政の福祉サービスには限界があるため、検討委員会を設置し丸 2 年にわたる準備期間を経て、平成22年10月に事業が開始された。

日常生活の中での、部屋の整理や掃除・通院同行・買い物・草取りなど、ちょっとしたお困り事に対応している。協力会員間の交流や研修にも力を入れている。

*会員数

- ・利用会員：65名
- ・協力会員：57名
- ・賛助会員：75名

（平成 24 年 2 月現在）

*作業依頼ベスト3

- 1、部屋の整理掃除
- 2、庭の草取り
- 3、買い物代行と付き添い



お風呂掃除の様子



庭の草取りの様子

利用会員・協力会員・賛助会員は常時募集していますので、気軽にお問い合わせください

電話番号：043-312-4073

FAX 番号：043-312-4074

※月曜と木曜の14時～16時以外は留守電かFAXにて承ります